

## 2014年度第1四半期報告

2014年8月8日  
オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(本社:東京都港区、社長:片岡 一則)は、2014年度第1四半期決算(2014年4月1日～2014年6月30日)を別紙のとおりお知らせいたします。

### 1. 契約の状況

#### ◆新契約(個人保険)の状況

(単位:億円、千件)

	2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期
新契約高	2,537	3,102	4,124
新契約年換算保険料	58	55	80
新契約件数	99	92	137

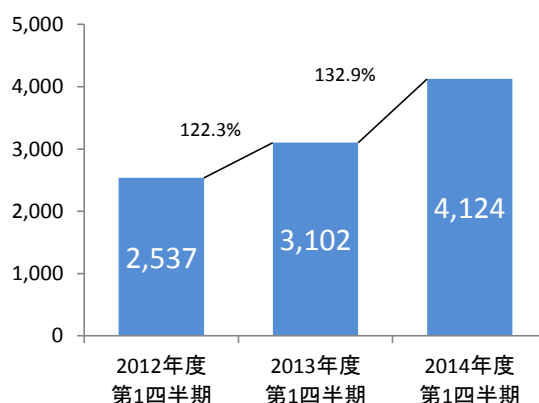
#### ◆保有契約(個人保険)の状況

(単位:億円、千件)

	2012年度末	2013年度末	2014年度 第1四半期末
保有契約高	53,702	63,283	65,990
保有契約年換算保険料	1,224	1,386	1,432
保有契約件数	1,783	2,139	2,237

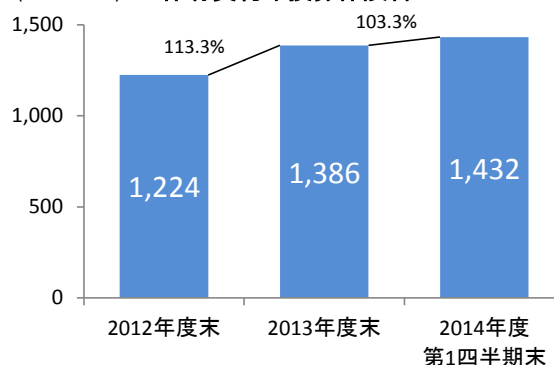
(単位:億円)

#### 新契約高



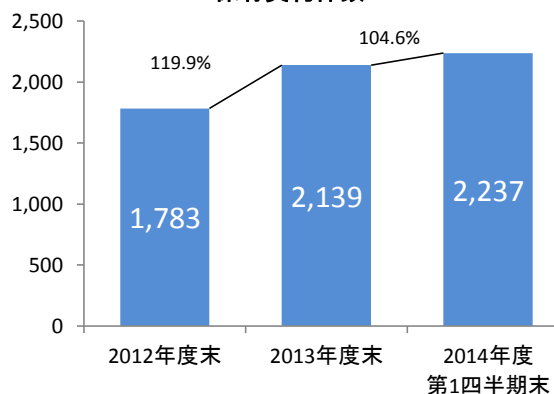
(単位:億円)

#### 保有契約年換算保険料



(単位:千件)

#### 保有契約件数



新契約高は、第一分野商品(「収入保障保険キープ」「定期保険ファインセーブ」など)の販売が好調であったことから、前年同期比32.9%増の4,124億円となりました。

新契約年換算保険料は、「医療保険 新キュア」「医療保険 新キュア・レディ」や、「定期保険ファインセーブ」などの販売増加により、前年同期比44.4%増の80億円となりました。

また、新契約件数は、「医療保険 新キュア」「医療保険 新キュア・レディ」の発売による増加や、第一分野商品の販売増加により、前年同期比48.4%増の137千件となりました。

保有契約高は、第一分野商品の販売が好調に推移したことから、前年度末比4.3%増の6兆5,990億円となりました。

保有契約年換算保険料は、医療保険キュアシリーズや第一分野商品等の増加により、前年度末比3.3%増の1,432億円となりました。

保有契約件数は、第三分野商品に加え、第一分野商品も増加し、前年度末比4.6%増の2,237千件となりました。

## 2. 収支等の状況

### ◆収支・利益

(単位:百万円)

	2012年度 第1四半期		2013年度 第1四半期		2014年度 第1四半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険料等収入	30,511	112.0%	33,848	110.9%	39,489	116.7%
資産運用収益	3,186	81.3%	5,760	180.8%	3,497	60.7%
保険金等支払金	17,430	81.0%	17,379	99.7%	16,391	94.3%
資産運用費用	880	80.3%	1,086	123.3%	1,259	116.0%
基礎利益	△ 2,801	-	△ 5,905	-	△ 4,262	-
当期純利益	△ 1,738	-	△ 2,515	-	△ 3,261	-

- ・保険料等収入は、医療保険や定期保険、収入保障保険の保有契約が増加したことなどにより、前年同期比16.7%増の394億円となりました。
- ・資産運用収益は、有価証券売却益が減少したことなどにより、前年同期比39.3%減の34億円となりました。
- ・保険金等支払金は、保有契約の増加に伴い給付金支払は増加したものの、保険金支払が減少したため、前年同期比5.7%減の163億円となりました。
- ・資産運用費用は、前年同期比16.0%増の12億円となりました。
- ・基礎利益は、標準責任準備金の積増負担が減少したことなどにより、前年同期より16億円赤字幅が縮小し△42億円となりました。
- ・当期純利益は、有価証券売却益が減少したことなどにより、前年同期より7億円減の△32億円となりました。

### ◆米国会計基準(SEC基準)による主要な経営指標

オリックスグループは、米国会計基準(SEC基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかにSEC基準を採用し、経営管理の指標としています。

(単位:百万円)

	2012年度 第1四半期		2013年度 第1四半期		2014年度 第1四半期		2013年度末
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
営業収益	33,673	102.9%	39,136	116.2%	42,437	108.4%	161,738
保険料収入	30,271	113.9%	33,211	109.7%	38,514	116.0%	146,176
資産運用収益	3,204	54.6%	5,778	180.3%	3,652	63.2%	14,390
その他収益	198	71.5%	147	74.5%	271	183.7%	1,172
営業費用	26,941	100.1%	29,939	111.1%	34,294	114.5%	132,515
責任準備金繰入額等	14,898	104.3%	15,063	101.1%	16,126	107.1%	64,833
資産運用費用	705	64.8%	1,034	146.8%	1,186	114.7%	3,553
その他費用	11,339	98.1%	13,842	122.1%	16,981	122.7%	64,130
税引前当期純利益	6,732	116.0%	9,197	136.6%	8,142	88.5%	29,223
法人税等	2,011	94.1%	2,741	136.3%	2,521	92.0%	9,619
当期純利益	4,721	128.8%	6,456	136.8%	5,621	87.1%	19,604
総資産	588,853	108.9%	662,448	112.5%	770,722	116.3%	732,256
保険契約債務	406,852	102.8%	429,898	105.7%	461,560	107.4%	454,436
株主資本 (払込資本金)	132,414 (32,500)	131.1%	167,246 (40,000)	126.3%	226,678 (59,000)	135.5%	196,973 (47,500)

- ・営業収益は、医療保険や引受基準緩和型医療保険、定期保険などの保有契約増加に伴い保険料収入が増加したことや、有価証券売却益の減少などにより、前年同期比8.4%増の424億円となりました。
- ・営業収益は伸びましたが、営業費用が営業収益以上に伸びたことから、税引前当期純利益は前年同期比11.5%減の81億円、当期純利益は同12.9%減の56億円となりました。
- ・総資産は、2014年6月に実施した230億円の増資などにより、前年度末比385億円増の7,707億円となりました。

(SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについては次ページご参照ください。)

## <SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

### ■新契約の獲得経費

- ・SEC基準では、新契約の獲得経費は、新契約からもたらされる将来の収入に対応すべき部分を、当期に一括計上せず、繰延処理します。
- ・会社法基準では、新契約の獲得経費を当期費用として一括計上します。
- ・新契約の販売が好調な時、SEC基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が圧縮されます。

### ■責任準備金

- ・SEC基準では、実績発生率を基に計算される責任準備金を積み立てます。
- ・会社法基準では、無配当商品に対しても有配当商品と同じ積み立てを行うなど、一般的に、SEC基準と比べて契約初期の積立負担が大きな標準責任準備金を積み立てます。

上記の会計基準の違いにより、当社においては、新契約が急増した場合、会社法基準は一時的に利益が減少する傾向があります。

## 3. 健全性等の状況

### ◆健全性・資産等の指標

(単位:億円)

	2012年度末	2013年度末	2014年度第1四半期末
ソルベンシー・マージン比率	802.8%	758.3%	998.2%
総資産	5,837	6,454	6,807
実質純資産	1,061	1,188	1,461

- ・ソルベンシー・マージン比率は、230億円の増資などにより、前年度末の758.3%から239.9ポイント増加し、998.2%となりました。
- ・総資産は前年度末から353億円増加し、6,807億円となりました。
- ・実質純資産は前年度末より273億円増加し、1,461億円となりました。
- ・なお、当社は標準責任準備金を積み立てています。

### ◆格付け(2014年8月8日現在)

- ・格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力格付け : A+
- ・スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け : A-

### ■オリックス株式会社(コード番号:8591)の2015年3月期第1四半期連結決算(2014年4月～2014年6月)

<http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

オリックスグループの事業は、法人金融サービス・メンテナンスリース・不動産・事業投資・リテール・海外の6つのセグメントで構成され、オリックス生命保険は、リテール事業部門に位置しています。

## 4. トピックス

- 2014年3月31日 ・ 2013年度新契約件数が50万件を突破
- 2014年6月23日 ・ 230億円の増資による資本の強化を実施
- 2014年7月1日 ・ ハートフォード生命保険の全株式取得の完了

<本件に関するお問合せ>  
オリックス生命保険株式会社  
経営企画部広報チーム 石井・弘重(ひろしげ)  
TEL: 03-6683-2105

以上

目 次

1. 主要業績	.....	( 1 )
2. 資産運用の実績(一般勘定)	.....	( 3 )
3. 四半期貸借対照表	.....	( 6 )
4. 四半期損益計算書	.....	( 7 )
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	.....	( 9 )
6. ソルベンシー・マージン比率	.....	( 10 )
7. 特別勘定の状況	.....	( 10 )
8. 保険会社及びその子会社等の状況	.....	( 10 )
(参考)証券化商品等への投資の状況について	.....	( 11 )

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

・ 保有契約高

(単位 : 件、億円、%)

区 分	2013年度末		2014年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度末比	前年度末比	
個 人 保 険	2,139,265	63,283	2,237,181	104.6	65,990	104.3
個人年金保険	998	26	923	92.5	25	99.5
団 体 保 険	—	4,710	—	—	4,790	101.7
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・ 新契約高

(単位 : 件、億円、%)

区 分	2013年度 第1四半期累計期間				2014年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比			新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	92,360	3,102	3,102	—	137,101	148.4	4,124	132.9	4,124	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## (2) 年換算保険料

## ・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2013年度末	2014年度 第1四半期 会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	138,651	143,233	103.3
個 人 年 金 保 険	627	609	97.1
合 計	139,279	143,843	103.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	87,276	90,391	103.6

## ・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2013年度 第1四半期 累計期間	2014年度 第1四半期 累計期間	前年同期比
個 人 保 険	5,593	8,076	144.4
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	5,593	8,076	144.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	3,668	5,260	143.4

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績(一般勘定)

### (1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2013年度末		2014年度 第1四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	18,120	2.8	119,201	17.5
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	21,517	3.3	14,868	2.2
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	465,983	72.2	410,317	60.3
公 社 債	437,255	67.7	365,641	53.7
株 式	56	0.0	60	0.0
外 国 証 券	15,491	2.4	32,282	4.7
公 社 債	15,491	2.4	32,282	4.7
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	13,180	2.0	12,334	1.8
貸 付 金	17,888	2.8	13,629	2.0
不 動 産	90,290	14.0	90,061	13.2
繰 延 税 金 資 産	3,089	0.5	2,607	0.4
そ の 他	29,940	4.6	31,300	4.6
貸 倒 引 当 金	△ 1,427	△ 0.2	△ 1,263	△ 0.2
合 計	645,402	100.0	680,724	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	12,397	1.9	107,896	15.9

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

## (2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2013年度末					2014年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	95,299	102,607	7,308	7,308	—	95,263	104,140	8,877	8,877	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	366,407	370,678	4,271	4,471	199	308,800	315,048	6,248	6,318	69
公 社 債	339,743	341,956	2,212	2,405	193	267,257	270,378	3,120	3,188	67
株 式	50	50	△ 0	4	5	50	54	3	5	2
外国証券	15,356	15,491	134	134	—	31,759	32,282	522	522	—
公 社 債	15,356	15,491	134	134	—	31,759	32,282	522	522	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	11,256	13,180	1,924	1,925	1	9,732	12,334	2,601	2,601	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	461,706	473,286	11,580	11,779	199	404,063	419,189	15,126	15,196	69
公 社 債	435,042	444,563	9,521	9,714	193	362,520	374,519	11,998	12,065	67
株 式	50	50	△ 0	4	5	50	54	3	5	2
外国証券	15,356	15,491	134	134	—	31,759	32,282	522	522	—
公 社 債	15,356	15,491	134	134	—	31,759	32,282	522	522	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	11,256	13,180	1,924	1,925	1	9,732	12,334	2,601	2,601	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。



- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。  
(単位：百万円)

区 分	2013年度末	2014年度 第1四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他の	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	—
その他の有価証券	5	5
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	5	5
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	0	0
その他	—	—
合 計	5	5

### (3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

- ・運用目的の金銭の信託

該当ありません。

- ・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当ありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	2013年度末 要約貸借対照表 (2014年3月31日現在)	2014年度 第1四半期会計期間末 (2014年6月30日現在)
	金 額	金 額
( 資 産 の 部 )		
現 金 及 び 預 貯 金	18,120	119,201
買 入 金 銭 債 権	21,517	14,868
有 価 証 券	465,983	410,317
( うち 国 債 )	(340,543)	(259,986)
( うち 地 方 債 )	(1,789)	(7,313)
( うち 社 債 )	(94,922)	(98,340)
( うち 株 式 )	(56)	(60)
( うち 外 国 証 券 )	(15,491)	(32,282)
貸 付 金	17,888	13,629
保 険 約 款 貸 付	5,487	5,310
一 般 貸 付	12,401	8,319
有 形 固 定 資 産	90,442	90,207
無 形 固 定 資 産	3,388	3,693
代 理 店 貸	65	66
再 保 険 貸	354	89
そ の 他 資 産	25,755	26,946
前 払 年 金 費 用	198	337
繰 延 税 金 資 産	3,089	2,607
支 払 承 諾 見 返	25	22
貸 倒 引 当 金	△ 1,427	△ 1,263
資 産 の 部 合 計	645,402	680,724
( 負 債 の 部 )		
保 険 契 約 準 備 金	610,840	626,306
支 払 準 備 金	17,840	18,435
責 任 準 備 金	592,182	607,420
契 約 者 配 当 準 備 金	817	450
再 保 険 借 債	264	245
そ の 他 負 債	11,660	10,251
未 払 法 人 税 等	56	17
そ の 他 の 負 債	11,604	10,233
価 格 変 動 準 備 金	1,840	1,885
支 払 承 諾	25	22
負 債 の 部 合 計	624,631	638,711
( 純 資 産 の 部 )		
資 本 金	47,500	59,000
資 本 剰 余 金	33,704	45,204
資 本 準 備 金	33,704	45,204
利 益 剰 余 金	△ 63,390	△ 66,517
そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 63,390	△ 66,517
繰 越 利 益 剰 余 金	△ 63,390	△ 66,517
株 主 資 本 合 計	17,813	37,687
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,956	4,325
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	2,956	4,325
純 資 産 の 部 合 計	20,770	42,012
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	645,402	680,724

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	2013年度 第1四半期累計期間 2013年4月1日から 2013年6月30日まで	2014年度 第1四半期累計期間 2014年4月1日から 2014年6月30日まで
	金 額	金 額
経 常 収 益	39,827	43,201
保 険 料 等 収 入	33,848	39,489
(うち 保 険 料 )	(33,759)	(39,429)
資 産 運 用 収 益	5,760	3,497
(うち 利 息 及 び 配 当 金 等 収 入 )	(2,599)	(2,626)
(うち 有 価 証 券 売 却 益 )	(3,105)	(702)
そ の 他 経 常 収 益	218	214
(うち 支 払 備 金 戻 入 額 )	(127)	(—)
経 常 費 用	43,118	47,482
保 険 金 等 支 払 金	17,379	16,391
(うち 保 険 金 )	(3,822)	(3,394)
(うち 年 金 )	(170)	(221)
(うち 給 付 金 )	(3,278)	(4,491)
(うち 解 約 返 戻 金 )	(9,471)	(7,687)
(うち そ の 他 返 戻 金 )	(452)	(395)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	14,334	15,833
支 払 備 金 繰 入 額	—	595
責 任 準 備 金 繰 入 額	14,334	15,237
資 産 運 用 費 用	1,086	1,259
(うち 支 払 利 息 )	(0)	(1)
(うち 有 価 証 券 売 却 損 )	(295)	(0)
(うち 金 融 派 生 商 品 費 用 )	(—)	(10)
事 業 費 用	9,454	12,570
そ の 他 経 常 費 用	863	1,427
経 常 損 失	3,291	4,281
特 別 損 失	20	48
固 定 資 産 等 処 分 損	0	3
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	20	45
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	175	200
税 引 前 四 半 期 純 損 失	3,487	4,530
法 人 税 及 び 住 民 税	△ 1,094	△ 1,141
法 人 税 等 調 整 額	122	△ 127
法 人 税 等 合 計	△ 972	△ 1,268
四 半 期 純 損 失	2,515	3,261

## 注記事項

### (四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

#### 2014年度第1四半期会計期間末

#### 1. 会計上の変更、過去の誤謬の訂正

当第1四半期会計期間より、「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号)に基づき、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準に変更しております。これに伴い、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金が135百万円増加しております。また、当第1四半期累計期間の経常損失及び税引前四半期純損失は2百万円減少しております。

#### 2. 四半期特有の会計処理

##### 貸倒引当金の算定方法

貸倒引当金は、次のとおり計上しております。

破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。上記以外の債権については、前会計年度末の貸倒実績率を基礎として、合理的な範囲内で調整を加えた貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### 3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	817百万円
ロ. 当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	567百万円
ハ. 契約者配当準備金繰入額	200百万円
ニ. 当第1四半期会計期間末現在高	450百万円

#### 4. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年6月23日付で、オリックス株式会社から株主割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が11,500百万円、資本準備金が11,500百万円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が59,000百万円、資本準備金が45,204百万円となっております。

#### 5. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 注記事項

### (四半期損益計算書関係)

#### 2014年度第1四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は、1,988円36銭であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	2013年度 第1四半期 累計期間	2014年度 第1四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 5,905	△ 4,262
キャピタル収益	3,105	702
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	3,105	702
金融派生商品収益	—	—
為替差益	0	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	295	390
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	295	0
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	10
為替差損	—	379
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	2,810	311
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 3,095	△ 3,950
臨時収益	13	2
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	13	2
その他臨時収益	—	—
臨時費用	209	333
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	209	333
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 195	△ 330
経常利益 A+B+C	△ 3,291	△ 4,281

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2013年度末	2014年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	58,897	101,010
資本金等	17,813	37,687
価格変動準備金	1,840	1,885
危険準備金	6,816	7,149
一般貸倒引当金	267	105
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	3,844	5,623
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	1,843	1,843
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	78,630	82,163
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び 負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 52,159	△ 35,444
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	△ 3
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	15,533	20,238
保険リスク相当額 R1	3,970	4,137
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	2,852	3,015
予定利率リスク相当額 R2	1,506	1,509
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	11,773	16,610
経営管理リスク相当額 R4	603	758
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	758.3%	998.2%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

該当ありません。

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

## (参考)証券化商品等への投資の状況について

2014年6月末時点での当社が保有する証券化商品への投資の状況につきご報告します。  
なお、サブプライム関連投資はございません。

① 特別目的事業体(SPEs)一般への投資はありません。

② 債務担保証券(CDO)への投資はありません。

③ その他のサブプライム・Alt-Aへの投資はありません。

④ 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:百万円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:2013年度末		
商業用不動産担保証券(CMBS)	-	5,789	-	-

⑤ レバレッジド・ファイナンスへの投資はありません。

⑥ その他

(単位:百万円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:2013年度末		
ABS(*1)	9,084	10,454	76	-
RMBS(*2)	37,856	34,594	1,369	-
住宅金融支援機構	30,962	28,934	1,035	-
民間金融機関(住宅ローン)	6,895	5,660	334	-
その他の仕組債(*3)	-	-	-	-
合計	46,940	45,048	1,445	-

\*1:ABSの裏付債権はすべて日本国内のローン債権、リース料債権等であり、海外の債権を裏付けとするものはありません。

\*2:RMBSの裏付債権はすべて日本国内の住宅ローンであり、海外の住宅ローンを裏付けとするものはありません。

\*3:CDS、クレジットリンクノートの取引・残高はありません。

※「含み損益」は時価から簿価を差し引いたものであり、「実現損益」は売却損益と減損損失の合計額です。  
(利息および配当金収入等は含めておりません)